

相互運用性の向上に向けた欧州金融機関等の取組み
～ISO20022を用いた送金業務での対応～

2024年2月7日(水) 15:00～15:45 入室14:40

会場

オンラインライブセミナー

LIVE配信 Webex Webinars
翌日以降アーカイブ配信(要事前申込)

受講料

無料

FISC会員及び子会社の役職員
子会社については申込ページ記載内容をご確認ください一般 1,000円(消費税込)
教育機関 500円(消費税込)

講師

FISC
調査部
主任研究員

斉川 真介

申込期間

1月18日(木)～2月1日(木) 17時

講演内容

情報システムにおける相互運用性の向上は、社会全体における情報処理コストを低減することが可能となる等、その効果への期待は大きい。金融インフラにおける相互運用性向上の取組みであるSwiftのISO20022移行対応においても、グローバルな決済データにおける情報やマネー・ローンダリング対策の正確性等の向上が期待される。このようななか、世界各国の金融機関では、残存する課題に対処しながら、ISO20022移行対応を進めている。一方で、欧州の小口決済ネットワークであるSEPAでは、既にISO20022移行対応を終え、新たなサービスの動きもみられる。

本調査では、欧州金融機関を中心に、相互運用性の向上に向けたISO20022移行対応に係るこれら取組みについて紹介する。

プログラム

15:00～15:05 FISCニュース 当センターの調査研究活動についてご説明いたします。
15:05～15:45 相互運用性の向上に向けた欧州金融機関等の
取組み ～ISO20022を用いた送金業務での対応～
※質疑応答含む

- ▶申込方法：当センターホームページ (<https://www.fisc.or.jp>) からお申込み下さい。
お申込み後、当日午前中までに、Webexより招待メールを送付させていただきます。
- ▶動画配信：後日、動画配信いたします。アーカイブ配信のみ視聴の場合も、お申込みが必要です。
※ご視聴にはPWが必要となります。セミナー終了後、視聴用PWをメールにて送付させていただきます。

詳細・お申し込みはホームページをご覧ください!